

モデルサイトの小学校で水資源の出前講座を実施 ～節水型社会構築モデルプロジェクト～

1月13日及び15日、「日本水フォーラム」の節水リーダーである橋本淳司専門家が、当プロジェクトサイトである鄭州市・淄博市の小学校において、出前講座(テーマ:水を大切にするためにできることを考えよう)を行いました。その目的は、当プロジェクトの内容の1つである、効果的な節水普及啓発を行える人材育成の一環として、節水担当の政府関係者や小学校の教員に、日本の節水教育のやり方を実際に見てもらおうことです。

橋本専門家は、世界各地の水資源の状況を説明しつつ、水資源の重要性を伝えていきました。小学生たちは、目の前に置かれた10ℓのバケツを見ながら、1日の生活の中で、如何に多くの水を使っているかということを考えたり、水の少ないアフリカにおける水運びの大変さを、実際に20ℓのペットボトルの入ったバッグをもって体験したりという、参加し、体験し、考えるという授業でした。聴講した小学生の人数は150名余で、積極的に手を挙げて、橋本専門家の質問に答える姿が印象的でした。

これまで、鄭州市や淄博市でも、節水の普及啓発活動が行われてきました。しかしながら、その方法は、ラジオやメディアをつかった政府から市民に対する公共広告という手段によるメッセージの発信であり、小学生や住



小学生達が水について真剣に考えました

民が、節水について自ら考えるというスタイルのものではありませんでした。

今回の橋本専門家の方法は、現地の政府関係者の目には新鮮に映ったようで、今後、モデルサイトから、節水リーダーを選出して、同じような内容の活動を展開したいという意見も出てきています。今後、当プロジェクトの活動が、中国の節水教育にとり、一助となるよう、取り組んでいきたいと思えます。

(長期専門家:竹島睦、泉博隆)